

青陵

卒業生の皆様へ

コロナ禍は2年目でやっと収束の兆しが見えてきましたが、さぞ、お疲れのことと思います。

同窓会総会も、本部をはじめ各支部すべてが前年に続き中止となり、年代を超えた同窓生の集いの手段が失われました。

今回は倉敷駅前に誕生したばかりの大規模ビル群を表紙写真に採用しました。帰省もままならない岡山県外でご活躍の皆様へのメッセージでもあります。

コロナ禍に負けない同窓生や現役青陵生の活躍、倉敷の変貌ぶりをお届けします。(編集室)

副会長就任、同窓会発展に尽力



師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと
2021年9月開催の倉敷青陵高校同窓会総会(書面表決)におきまして、副会長に選任され、この度就任いたしました。

微力ではございますが、伝統あるわが同窓会の発展に力を尽くして参りたいと念願しております。今後とも引き続き、ご指導・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍により何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が戻りますように、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

まずは、略式ながら書中をもって就任のご挨拶を申し上げます。

令和3年12月

細田 貴道(31期)

「誇れる母校」づくりに邁進



校長 内田 博文(同窓会名誉会長)

同窓生の皆様には、ますます御健勝、御活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校に対する深い愛情とともに、多大な御支援と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

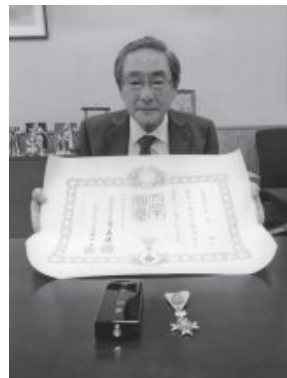
本校の使命は、創立以来、諸先輩方が大切にしてこられた「自主・責任・挑戦」の志を受け継ぎ、「文武不岐」の精神を土台に、社会で必要とされる人材を育成することであると考えます。

この使命を果たし、同窓生の皆様方にとって青陵高校が「誇れる母校」として在り続けるよう、今後とも教職員一丸となって教育活動の充実・発展に努めてまいります。どうぞ母校への変わらぬ御声援と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【略歴】うちだ・ひろふみ 井原市出身。井原高校から国学院大学文学部を卒業。専門は国語。鴨方高校を皮切りに青陵高校で12年、県警察学校理事官、井原市立高校教頭などを経て令和3年4月、第23代校長として着任。浅口市鴨方町在住。



青陵高校第18代校長・永井裕先生(19期)が、令和3年4月の春の叙勲で瑞宝小綬章を受章しました。



校長を務めた母校で叙勲を受けた永井裕先生(19期)校長室

コロナ禍の関係で東京での授章式はなく県教委を通じて6月2日、青陵高校で勲記と勲章が伝達されました。内田博文校長らが立ち会いました。

永井先生は広島大学教育学部を卒業、旧市立児島高校を振り出しに数学教諭として教壇に立ち、「数学を解く楽しさを伝える授業」を心掛けたそうです。

母校出身初 永井裕^元校長(19期)に瑞宝小綬章

一宮高校教頭時代には理数教育に重点を置く文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定に尽力しました。福渡高校、鳥城高校の各校長を経て平成19年4月から3年間、母校青陵の校長を務めました。青陵出身の校長は初めてでした。

校長退任以来の母校に「礼儀正しい、しっかりした生徒という印象を受けました」と言います。在任中、新図書館建設、創立100周年記念事業などを手掛け、青陵の発展に貢献しました。

石原隆司第3代同窓会長(3期)逝去

青陵高校本部同窓会の第3代会長を務めた石原隆司さん(3期)が、令和3年5月15日にご逝去されました。87歳でした。

在学中はバスケットボール部で活躍しました。川崎製鉄水島製鉄所(現JFEスチール西日本製鉄所倉敷地区)へ入社、厚生課当時、野球部部长として有力選手をプロ入りさせています。その後、関連会社の社長を務めました。

九州青陵会を立ち上げ

さらに、平成前期に本部同窓会長を務めました。会長を引き継いだ加川英郎さん(4期)は「創立100周年記念事業、九州青陵会の立ち上げなど同窓会の活性化に務められました。大変お世話になりました」と感謝しています。お疲れさまでした。ご冥福をお祈りします。

弔

会の幹事をしてくれて、よく集まってワイワイやったのが一番の思い出ですね。寂しくなりましたよ」と、生前をしのんでいます。

□：石原さんの写真の掲載はご遺族が辞退されました
／判明している同窓会長は倉女時代からいえば、現在の岡田会長は5代目となります。

◇表紙の写真◇

令和3年10月、倉敷駅前再開発事業で誕生した「あちてらす倉敷」。ホテル・商業施設、マンションの2棟からなる倉敷市最大級の複合ビル。駅前が変貌を遂げた。右奥が倉敷駅。

本部総会 2年連続中止

青陵高校同窓会(岡田展弘会長)は、令和3年7月に同校で開いた正副会長会議で本年度の本部総会(8月1日)をコロナ禍のため中止することを決定しました。

2月の臨時理事会では、執行部から10月にスライドさせて開催する案も出しましたが断念、2年連続の中止となりました。

議案審議では、前年度の行事、決算報告、本年度の行事、予算案、役員改選、会則の一部変更の4件を決定しました。

具体的には、井上善弘副会長(21期)が健康上の理由で退任、後任に細田貴道理事(31期)が昇格/会則は、コロナ禍のような緊急事態の場合、正副会長会議で原案を決定、理事・評議員に事後承認を得るという内容です。

行事と決算報告、予算案と役員一覧など総会資料一式を8月、理事・評議員全員に郵送し書面表決(はがき)を求めました。その結果、異議なく議決されました。

岡田会長は「会則が古くなっているので近く全面改正を考えています。来年(同4年)は総会では是非とも多くの同窓生とお会いしたく思います」と話していました。

東京、近畿、九州の総会も

東京青陵会は令和2年12月、近畿青陵会は同3年3月、九州青陵会は同年8月の、いずれも役員会で同3年度の総会を中止しました。前年度に続く中止です。

新副会長に細田貴道理事(31期)選任

したパントリー(食料庫)という新事業に乗り出すなど活発な活動を展開しています。新事業への取り組みや青陵時代の思い出をうかがいました。

(聞き手は編集委員)

「社協」の名で知られる地域住民の福祉増進を図る社会福祉法人・倉敷市社会福祉協議会の中桐泰(やすし)会長=12期=が令和3年6月、就任2期目となりました。発足して70年になる社協はコロナ禍に対応

倉敷市社会福祉協議会会長・中桐 泰さん(12期)に聞く

—中桐さん、就任2期目、ご苦労さまです。

きょうは取材ありがとうございます。この組織との関わりは地元、西阿知地区の民生委員・児童委員を引き受けたことに始まります。42歳でしたね。以来、仕事の傍ら学区の協議会会長、市の協議会会長まで33年間務めました。社協のほうは西阿知地区の会長はしていましたが、市の民生委員・児童委員協議会会長の折、当て職で社協副会長になったのがきっかけで、そのまま会長に推されたんです。社協のキャリアは8年ほどです。社協の会長は市議会議員や市役所OBが代々務めていて、私は異色なんですよ(笑い)。

—新聞で拝見したんですが、パントリー(食料庫)という新事業を始めたそうで。これは

はニュースですね、コロナ対策ですか。

そうですね。県内社協の中では一番乗りです。地域にパントリーを設置して、米、野菜、レトルト食品、調味料、洗剤など日常の支援品を用意して希望者に無料で配るシステムです。希望者が自由に持ち帰れます。支援品はコンビニ、スーパー、農家、住民有志らが市社協本部に寄付、各パントリーに配分、随時補給します。社協職員の生活支援コーディネーターがパントリーの場所や支援品提供の協力者を開拓するなど運営の柱になっています。コロナ対策、さらに最近問題になっている食品ロスの解消にも役立ちますよ。令和3年1月に事業をスタートさせ、おかげでパントリーは1年足らずで全市的に62カ所設けることができました。目標とする小学校区単位の普及に近づいています。

—社協は長年多くの事業を展開していますね。

昭和27年に設立。心配ごと相談所、高齢者無料職業紹介所、社会奉仕活動センター(現ボランティアセンター)を開設、最近では福祉人材バンク事業、法人後見事業などを行っています。高齢者等給食サービス事業など半分は市の委託事業ですね。真備町豪雨では民生委員の協力で、全国から来てくれたボランティア7万5000人の受付業務をやりました。組織的には倉敷とその周辺の各市町村にあった社協を一本化、現在は52の地区社協に整理されています。

—本年度は第3次倉敷市地域福祉活動計画を策定され、益々忙しくなりそうですね。ところで、青陵時代はどうでしたか。

野球部に入っていました。先生が「お前、少し勉強しろ」と言うんで(笑い)、2年生の夏の大会を最後に退部したんですよ。内野手ですが、やめる前は投手でした。家業はガソリンスタンドとプロパンガス販売で、どうせ跡を継ぐからと、大学のことは本気で考えてなくてねえ。そこから勉強して大学へ進学しました。文化祭・運動会? そっちのほうは関わってませんでした。現在、12期の同期会会長をしています。今はマンション経営に切り替えましたが、社協のお世話を当分頑張りますよ。

—ありがとうございました。倉敷市の住民福祉の充実へご健闘をお祈りします。



県内社協初、生活支援パントリー

野球部をやめて勉強、大学へ

全国第1号

棋道正師範

北村実(3期)

昭和45年、同連盟の岡山県支部連合会が発足すると同時に常務理事に就任、現在まで50年務めています。

北村さんは、30歳ごろに出場したアマチュア大会をきっかけに大山名人の知遇を得て、地元で開く将棋大会の世話や後進の指導など将棋の普及に貢献してきました。棋道正師範は長年の顕著な活動実績が評価されたものです。

将棋公認指導員の最高位



大山名人のレリーフの前で喜びを語る北村実さん(左)と倉敷市大山名人記念館

倉敷の生んだ将棋・大山(15世)名人の「城代家老」で棋道正師範・北村実さん(3期)が令和3年1月、日本将棋連盟から公認指導員の最高位「棋道正師範」を委嘱されました。全国第1号で、今回、同時に委嘱された3人を含め、わずか4人だけです。

大学時代に将棋と出合った

大山さんを顕彰する倉敷市大山名人記念館の設立にも奔走、現在、同記念館長に就いています。さらに、女性将棋の公式タイトル・大山名人杯倉敷藤花戦や全国小学生倉敷王将戦のそれぞれ創設に尽力し、倉敷が将棋の聖地として知られるようになりました。一方で、アマ6段の実力を生かし、同記念館で多くの将棋愛好家を教えてきました。その中の一人にプロ入りして平成29年、王位のタイトルを獲得した菅井竜也八段(岡山市出身)がいます。「棋楽人」のペンネームで山陽新聞に連載する観戦記は40年になります。この間、倉敷藤花戦や岡山県アマ名人戦など2000局を取り上げ1万本の記事を掲載、将棋ファンに愛読されています。大山名人に寄り添い、将棋の普及に取り組んで半世紀になる北村さんは、「大山さんのおかげです。活動に一層邁進します」と、気を引き締めています。

□：北村さんは令和3年3月13日に放映された大山十五世名人のRSK特集番組(座談会)に出演、回顧談を語りました。

「樹木検索図鑑」今度はスマホでどうぞ!

わが国初

荒木武夫さん(5期)開発

農林(現農水)省OB荒木武夫さん(5期)が全国に先駆けて開設したインターネットのサイト「葉と枝による樹木検索図鑑」が樹木ファンに好評なことから、令和3年4月、サイトのトップページを更新し、「スマホに登録し、ハンディ図鑑として使つて」と、新たな利用を提案しました。

樹木検索図鑑を「葉と枝」で検索、トップページに今回、「Android版」、「iphone版」の2つからスマホ登録する方法を明示しました。これまでICTに詳しい人以外は登録方法が分からなかったと思われます。

まず、2つの方法のどちらかを選択しクリックすると、いずれも①ショートカットアイコン(簡単アクセス法)の作成手順②図鑑を見る方法の手順一が明示されています。

図鑑を持ち歩くことなく、その場で樹木の形態を観察、スマホを操作



して名前を検索できる優れものです。

聞かれた樹木の名前が満足に答えられず、樹木図鑑をめくっても名前を探せなかった経験から、「パソコンで図鑑を作ろう」と思いついたのがきっかけです。ホームページの作成方法を習得、平成21年に公開しました。

分類方法や画像撮影の研究、葉と枝の収集に努めました。10年以上かかりましたが、掲載した樹木の種類は目標の1000種を超え、令和3年11月現在、1185種に達しました。アクセス数も同年7月に100万件を超える人気ぶりです。

荒木さんは「樹木ファンの在校生やOBの皆さん、スマホでお気軽にどうぞ」と呼び掛けています。



スマホに登録された「樹木検索図鑑」の画面(左)がトップページ

トップページに登録方法を明示

る 後 輩

国内 2 例目

昆虫少年 山田洋平さん (当時 中学 3 年)



昆虫少年が偶然、珍種の蛾と遭遇、採集に成功しました。国内 2 例目という大捕り物でした。昆虫少年は青陵高 2 年生山田洋平さん、蛾は雌雄型と呼ばれる変異種のヤママユでした。

中学 3 年生の令和元年 9 月、父と出かけた赤磐市の川辺の雑木林に見慣れない昆虫が飛来、木の葉に止まったのを目撃しました。「あれは何だ」と慌ててスマホで撮影、常備している捕虫網を取りに車へダッシュしました。「逃げないでくれ」と祈りながら現場へ帰って見事にキャッチしました。

名前の通り繭を作るヤママユは全国に生息していますが、この種の採集例はほとんどありません。

珍種 雌雄型ヤママユを採集

羽を広げた時の幅は 12.9 釐という大型の蛾です。しかも体の左右の羽がはっきりと雌雄に分かれた突然変異



山田さんが採集した突然変異のヤママユ。山田さん提供

でした。右半分は雄の濃い褐色、左半分は雌の黄土色という左右が際立って対照的な特徴がありました。

早速、倉敷市立自然史博物館に持ち込み鑑定してもらった結果、「雌雄型の突然変異で、10 万～20 万匹に 1 匹の割合で生まれる珍種です。35 年ぶり全国 2 例目の発見で、立派な学術資料になります」という思いがけないビッグニュースをつかんだのです。

同博物館のアドバイスをを受けながら、高校入学後にまとめた記録報告が昆虫専門誌『月刊むし』の同 2 年 12 月号に載り、全国に紹介されました。これを受け、山陽や朝日など新聞 3 社の取材を受け、紙面を飾りました。

小学校低学年から野山でトンボやセミ、カブトムシを追いかけている山田さんは「見たこともないチョウ(のようなもの)が飛んで来て、しかもこんな貴重な珍種だったとは 2 度びっくりです。一期一会ですね！。将来は生物学者？生物の科目は好きですが…」2 年生で文系コースに進みました。

□…部活は美術部です。

新聞記事、専門誌で全国に紹介

『あなたがいた場所 学校の木』の表紙=倉敷市立中央図書館蔵



同書は岡山県内の小学校から大

鴨川(旧姓)恵美子さん(2期) 掲載本を紹介

『あなたがいた場所 学校の木』の表紙=倉敷市立中央図書館蔵

本校の伝統ある樹木が掲載されていること、早速、内容を確認してみました。

同書には「伝統を形にしたもの」というタイトルで 4 頁にわたり、写真とともに本校の「十三本の松」と校内の樹木調査について書かれていました。校門そばにある「十三本の松」は倉女の記念樹で昭和 13 年に現在地に移

「十三本の松」青陵高校



りました。写真の本紙第 47 号の表紙を飾りました。

「十三本の松」に記念碑を設置、鴨川さんが碑文を揮毫しました。松の写



鴨川さんが揮毫した「十三本の松」の記念碑

の校内に植えられている特徴のある樹木や歴史を伝える記念樹など 30 例を取り上げています。平成 18 年に吉備人出版(岡山市)から刊行された本です。

同書には「伝統を形にしたもの」というタイトルで 4 頁にわたり、写真とともに本校の「十三本の松」と校内の樹木調査について書かれていました。校門そばにある「十三本の松」は倉女の記念樹で昭和 13 年に現在地に移

『学校の木』に本校の「十三本の松」

本校の樹木調査は、記念写真資料集の編集長を務めた鴨川さんが提案、生物部の協力で校内の樹木をすべて調べ上げ、分布図を資料集の扉のページに入れました。

同書の松と樹木調査の 2 件は鴨川さんから取材したものと、今回の鴨川さんの寄稿の中でも触れています。

講

演

井原と渋沢栄一 (NHK大河ドラマ主人公)

「日本資本主義の父」といわれる渋沢栄一が今、注目を集めています。令和3年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公で、同6年発行の新1万円札の肖像画になるなど時の人です。実は井原に大きな足跡を残しています。

元岡山大学経済学部非常勤講師・高橋義雄さん(12期)が1足早く、同2年9月18日、庄東憩の家で「井原と縁のある渋沢栄一」と題してタイムリーな講演を行いました。以下はその要旨です。

元岡山大学非常勤講師 高橋義雄さん(12期)



講演する高橋義雄さん(庄東憩の家)

渋沢栄一は幕末に近い天保11(1840)年、現在の埼玉県深谷市に生まれました。当時は武蔵国血洗島村とって江戸まで75^{km}、交通の要衝で政治、経済、文化の新しい情報が入る好位置にありました。家業は藍玉の製造・販売、養蚕、農業を手掛ける豪農でした。5歳ごろから父に、その後

〔略歴〕たかはし・よしお 敷市生まれ。岡山大学文学部を卒業後、中国銀行に入行、本店営業部長、支店長などを歴任。岡山県国際経済交流協会理事・事務局長、NPO法人岡山県文化交流国際協力会理事長、岡山大学非常勤講師を務める。傍ら、執筆活動。現在、郷土の歴史・経済・文化研究会会長として講演活動を展開。敷市在住。

一橋家に仕官がなくなったので。禁裏(御所)守衛総督に就任した慶喜に「兵力の常備が必要」と進言しました。目先が利いたんですね。早速、農兵募集のため一橋領の飛び地、3万3000石の井原陣屋(備中国西江原村)へ派遣されました。25

井原で農兵募集に成功



阪谷朗盧と対面する渋沢篤太夫(栄一) (NHKテレビより)

7,8分 井原陣屋のシーン

NHK大河ドラマ「青天を衝け」の井原陣屋のシーンは令和3年6月13日に放映されました。一橋家家臣・渋沢篤太夫(栄一)＝吉沢亮＝が農兵募集、剣術の試合、阪谷朗盧との対面など、才覚を表し世に出る力強い一歩を7,8分にわたり熱演、高橋さんの講演通りの場面が開かれました。井原と一橋家の関係を全国にアピールしたのでした。

百姓やめ日本の資本主義生む

はいとこの漢学者に「四書五経」や「日本外史」を学ぶ傍ら、家業を手伝い14歳ごろから一人で藍葉の仕入れをするなど、すでに秀才、鑑識眼がありました。

16歳のころ突然、将来を決める「事件」に遭遇しました。父の名代として御用金(臨時の賦課金)の言い渡しを受けに出頭したところ、役人にあざけり、からかわれ叱責されたことに憤慨、「やっつてられない!」とばかり百姓をやめる決心をしたのです。むらむらと上昇志向がわき天下に名を挙げたいと思うようになりました。

百姓から武士になり剣術の修行で、いどこに神道無念流、江戸に出て千葉道場で北辰一刀流を学び、勤皇の志士とも交流しました。19歳ごろから尊王攘夷運動に参加、高崎城乗っ取りや横浜焼き討ち計画、倒幕にも加担するなど過激派の一人として幕府役人に狙



祝新1万円札 渋沢栄一翁 埼玉・深谷市

後、徳川幕府

歳の時です。農家の2、3男を勧誘したんですが信用がないんです。そこで剣術の試合をして打ち負かしました。漢学の知識で阪谷朗盧と対等に物を言いたい、開校した興譲館の館長に推薦するなどしたことで見直されたんですね。200人余りを集め、さらに同じ飛び地の播州、摂州、泉州でも募集、合わせて1000人ほど集めることに成功して慶喜に見込まれました。

阪谷朗盧の息子芳郎(のち大蔵大臣)を女婿にするほどの信用を得ました。笠岡の鯛網観光にも出かけたようです。慶喜はその

第15代将軍となり、倒幕も考えた栄一は皮肉にも幕臣となりました。明治維新とともに静岡に商法会所(金融商社)を設立しました。その後、大蔵省に入省、国立銀行条例を布告、株式会社組織を確立して銀行や製紙、紡績など約500の会社を育て上げ、日本の資本主義の基礎を築きました。

渋沢は道徳と経済の一致を目指して「右手に論語、左手に算盤」という思想、つまり「論語と算盤」という本を著しました。つい最近の自民党総裁選挙で岸田文雄候補(現首相)が国家像に掲げたばかりです。明治、大正と多彩な足跡を残し昭和6年、91歳で大往生しました。

〔付記〕渋沢栄一は井原市出身の実業家・馬越恭平を大日本ビル(現サッポロビル)とアサヒビル)の社長に推薦しました。また大正元年、興譲館高校の校門(岡山県指定史跡)の扁額「興譲館」を揮毫、現存しています。(編集室)